

そうさ 匠瑛議会だより

第60号

2021

令和3年

6月2日発行



飯高寺ボタン園(令和3年4月20日撮影)



木積・竜頭寺の大ふじ(令和3年4月20日撮影)



天神山公園を彩る桜(令和3年3月29日撮影)

主な内容

3月定例会の概要、常任委員会の審査	2
一般質問	3~6
議会日誌、議会人事、訃報	6
討論、インターネット中継	7
発議	8
特集「常任委員会の役割等について」	9
審査結果、編集後記	10



のさか花の広場に咲く鮮やかなチューリップ(令和3年4月3日撮影)



植樹から324年を迎えた黄門桜(令和3年3月31日撮影)

令和3年度匝瑳市一般会計予算など議案30件、議員発議案3件を承認・可決

3月定例会

令和3年3月定例会は、2月26日に招集され、3月16日までの会期19日間をもって開かれた。

初日に市長から議案27件について、
令和3年3月定例会は、2月26日に招集され、3月16日までの会期19日間をもって開かれた。

提案理由の説明があった後、議案第7号及び議案第12号を先議し、可決した。
3月3日は、議案に対する大綱質疑が行われ、その後、各常任委員会に議案を付託した。

3日、5日、8日、9日には、
予算決算、総務、文教福祉、産業建設の各常任委員会において、付託された議案の詳細な審査が行われた。

11日、12日には、議員6人による市政に対する一般質問が行われた。また、12日には欠員となっていた前受金、入院・外来患者数、人間ドックに関する質疑があった。

常任委員会の審査

予算決算常任委員会

3月3日開催、委員17名出席
付託された事件は、議案10件

◆審査の経過及び結果

・議案第1号
会計年度任用職員報酬などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり承認するものと決した。

・議案第2号

社会福祉協議会助成事業、福祉カー貸付事業、学習用パソコン活用事業・校務用パソコン活用事業、個人番号カード交付事業、パークゴルフ場管理費、循環バス運行事業、飼料用米等生産拡大推進事業、農地転用申請・相談件数、清掃事務費、消防車両購入費、当初予算編成の取組状況、東京オリンピック・パラリンピック推進事業などに関する質疑があり、賛成多数で原案の

とおり可決するものと決した。

・議案第3号

一般被保険者の国保税滞納世帯数と収納率、歳入・歳出の主な増減理由などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第4号

歳入の主な増減理由などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第5号

保険料の上昇率、段階別の対象人数などに関する質疑があり、賛成多数で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第6号

病院事業については、他会計補助金、年度末資金残高、収益の算出根拠、医師数、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ、長期

とおり可決するものと決した。

・議案第8号

東京オリンピック・パラリンピック推進事業、中学校施設災害復旧費などに質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第9号

質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第10号

質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第11号

業務の予定量、新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関緊急支援事業補助金などに質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

総務常任委員会

3月5日開催、委員6名全員出席
付託された事件は、議案1件

◆審査の経過及び結果

・議案第13号

市長、副市長及び教育長の給料の減額率、期間などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

文教福祉常任委員会

3月8日開催、委員6名全員出席
付託された事件は、議案3件

◆審査の経過及び結果

・議案第14号

傷病手当金の申請状況や周知などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第15号

介護保険料の引き上げや介護給付準備基金の取り崩しなどに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第16号

改正の要点や各居宅サービス事業所のサービス状況の把握などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

産業建設常任委員会

3月9日開催、委員5名出席
付託された事件は、議案11件

◆審査の経過及び結果

・議案第17号

匝瑳市ほか二町環境衛生組合の財産処分、4月1日以降の体制などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第18号から議案第26号

コミュニケーションセンターの利用状況、管理料などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第27号

質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

3月定例会

市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をただすものです。

3月定例会では6名の議員が質問

に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は「匠瑳市議会会議録」をご覧ください。

一般質問の質問項目

都祭 広一 議員

- 雇用対策について
- 福祉人材の確保について
- コロナ禍における市民生活について
- 武漢コロナウイルス感染拡大防止への取り組みについて

林 明敏 議員

- ごみ処理について
- 市民病院について
- 新型コロナウイルス対策について
- 財政状況について
- 鳥インフルエンザについて
- 心の相談について
- 成人式について
- 千葉県知事選挙について
- 豪雨対策について

宮内 康幸 議員

- コロナウイルス感染症について
- コロナウイルス感染症の影響について
- 地域活性化について
- 防災・減災対策について

武田 光由 議員

- 公共施設等総合管理計画について
- 業務継続計画及び災害時受援体制について
- 災害時の対応について

田村 明美 議員

- コロナ関連の医療・相談体制について
- ワクチン接種について
- 国保税の特例減免について
- 生活保護制度について
- 地域福祉計画について
- 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について
- 交通弱者支援施策について
- 高病原性鳥インフルエンザについて

荻谷 進一 議員

- 市民病院について
- 広域ごみ処理施設について
- 匠瑳市ほか二町環境衛生組合ごみ処理施設について
- 公共交通機関について
- 家畜保健衛生所について



都祭広一議員
(創 真の会)

雇用対策

Q 市民意識調査で6割を超える方が雇用の不安を訴えているが、当市にはハローワークがないため、銚子や旭まで出向かなければならない。雇用対策として、公共職業安定所「ふるさとハローワーク」の設置が必要ではないか。

A 「市長」市民がより身近な場所で相談等が受けられるよう、過日、千葉労働局に本市への設置要望書を提出したところである。

Q 私が以前に設置要望した雇用案内窓口が野栄総合支所にも設置された。ハローワークのインターネットサービスに対応するため、パソコンの設置を検討してほしい。

A 「産業振興課長」パソコン設置は有効と考える。管理方法等について十分検討していきたいと考えている。

Q 行政職に高い関心を持った高校生に対する、市役所や公共施設でのインターンシップ（職業体験）制度を創設するべきではないか。

A 「市長」有為な人材を確保するため、今後インターンシップ制度の

導入を検討したいと考えている。ただし、一般行政職の採用は大学卒業程度の学力を有する上級を対象としていることから、高校生については、今後の制度構築の中で整理をしたいと考えている。

高齢者支援・介護

Q 福祉・介護分野の人材不足が深刻だが、市の高齢者福祉計画、介護保険事業計画における対策はいかがか。また、県が行う人材確保事業への連携協力を具体的に進めるべきではないか。

A 「市長」第8期計画では、新たに介護福祉士実務者研修会を対象とした助成を行っていく。

「高齢者支援課長」市内事業所への勤務を要件として、介護職員初任者研修の受講費用助成への対象者拡大と、県の行う介護に関する入門的研修の市内での開催に向けて、県及び関係機関との連携を図っていく。

武漢ウイルス

Q PCR検査で陽性が判明した方の自宅療養において、体調を崩し容体が悪化する例も報告されている。県と連携した、独自の在宅支援策が必要ではないか。

A 「市長」陽性者の個人情報公表ができていないため、直接の支援を行うことができないが、保健所と連携して、役割分担に応じた支援に努めていきたいと考えている。

健康

Q 市民病院の経営形態について、どのように考えているか伺う。

A 「市長」 現在、地方公営企業法を全部適用する経営形態となっており、ほかの経営形態への変更については検討していない。

Q 市民病院の広域連携について、多古町、横芝光町、旭市との話し合いは行っているのか伺う。

A 「市長」 病院の統合までを見据えた連携となると、現在はそのような方向での話し合いは行っていない。

Q 市民病院の耐震については、大地震で崩壊するレベルということだが、大地震で倒壊等した場合、どのような責任が発生するのか伺う。

A 「市民病院事務局長」 昭和46年の建築であるため、昭和56年度改定の耐震基準には一部適合していない。現在の状況は違法建築物ではなく、既存不適格建築物であり、耐震改修を実施することについては努力義務となっている。仮に、大地震で倒壊した場合には、管理上の瑕疵があったかどうかが争点になるものと考えており、市に管理上の瑕疵があったと認められた場



林明敏議員
(市民クラブ)

合には、その責任を負うことになると考えている。

財政

Q のさか望洋荘跡地活用事業優先交渉権者の提案内容と観光振興等への影響について伺う。

A 「企画課長」 観光農園、バーベキュー施設、キャンプ場、多目的広場の主に4施設についての提案があった。地域等との交流の推進や市民の雇用創出などを通じた地域の活性化や、市内外からの集客、事業全体の情報発信を通じた匝瑳市の認知度や魅力の向上が期待されるものと考えている。

Q 旭市には多数の海水浴場がある、野手浜の海水浴場開設を検討しているかどうか。

A 「産業振興課長」 匝瑳市の海水浴場(野手浜、今泉浜、堀川浜)については、すべて閉鎖している状況である。海水浴場を開設する場合には、海流調査の実施、匝瑳市夏期観光安全対策本部での協議を経て、可否を検討することになる。野手浜についても、周辺の動向を見ながら検討していく。

教育

Q 中止となった成人式について、今後どのような対応をするのか。

A 「教育長」 成人式の代替行事の開催については、今後の新型コロナウイルス新規感染者の推移の状況等を勘案しながら検討したいと考えている。



宮内康幸議員
(創世会)

新型コロナウイルス関係

Q 感染症の情報発信は市より県の役割が大きい。しかし市民が納得する情報発信は自治の基本と考えるが、市民の安心感を生む情報公開や広報の在り方について伺う。

A 「市長」 正確な情報を迅速に発信することが重要であると認識している。現在、広報そうさ、市ホームページ、ツイッター、防災行政無線、折り込みチラシ等を活用し市民の皆様へ速やかにお知らせしている。

Q 市内の感染者が多く確認された緊急事態宣言下で市民へ向けてのメッセージが少ないと感じたが。

A 「健康管理課長」 市内に感染者が発生した際には、市長自らメッセージを発信するなど情報発信に努めている。

Q 発生後の対応状況や感染経路や広がりの有無についてなど、追跡の情報公開ができないか。

A 「健康管理課長」 追跡調査については保健所が行うことになっており、市としては情報がなく公開することができない。

Q 陽性と判断されてから退院となるまで、フロー図で流れがわかるものを作って情報発信していただきたい。

A 「健康管理課長」 調査研究させていただき、前回発出した発熱時の流れに似たようなものを作成していきたい。

Q コロナウイルスに関する人権侵害を防止するための決意宣言について検討状況は。

A 「秘書課長」 感染者に対する誹謗中傷など、人権侵害の配慮に関する指針等の策定について、現在、関係課と調整を図りながら作成に向け取り組んでいる。

経済

Q 長引くコロナ禍での影響について、経済活動の回復支援を再度講じていくべきと考えるが。

A 「産業振興課長」 経済政策に係る新規や追加としての市の独自施策については、市の対策本部において今後協議していく。

地域振興(行事・イベント)

Q 今後ある程度条件が整えば各種イベント、地域行事なども開催していきけるよう判断基準などを示して開催していきべきではないか。

A 「産業振興課長」 今後、検討していきたいと考えている。

Q 成人式の開催について、私としては名称を変えたとしても実施いただきたい、改めて実行委員の皆さんとよくご協議いただきたい。

A 「市長」 代替行事を検討する中で、必要に応じて実行委員会にも相談して実現できるよう調整を図っていきたい。

財政

Q 公共施設等総合管理計画について、どのような取組が行われているのか伺う。

A 「市長」令和2年3月に策定した「匝瑳市公共施設個別施設計画」において、13施設を対象に施設カルテを作成したところである。今後、コスト・機能・利用状況などの管理と合わせて、施設の在り方を検討する資料としても活用していきたいと考えている。

Q 公立保育所・幼稚園の在り方についての検討状況を伺う。

A 「副市長」匝瑳市子育て支援対策委員会において、入所・入園児童数の推移、地区ごとの年齢別人口等を基に協議を行っている。今後、当該委員会としての方針等をまとめ、市長に報告する予定である。

Q 小学校の統廃合についての考えを伺う。

A 「教育長」学校教育問題懇談会の方針を受け、複式学級が複数出現する見通しとなった場合に、必要な情報提供とともに保護者や地域の方々な

どの意見を十分に聞きながら対応していきたいと考えている。

防災

Q 業務継続計画及び災害時受援体制について伺う。

A 「市長」本市では、災害時に市役所が被災したことを想定し、業務を迅速かつ的確に執行することを目的に、匝瑳市業務継続計画震災編を策定した。本計画の実効性の確保に向けて外部からの応援を効果的に受け入れる受援体制の整備が重要と考えている。

国から示された受援計画作成の手引に基づき、応援受入の総合調整窓口を設置するとともに、各担当部署に受援担当者を配置するなど、応援受入の環境整備を図ったところである。今後、受援計画の策定を検討していきたいと考えている。

Q 介護タクシィグループとの災害時輸送協定について伺う。

A 「市長」現在、市内には介護タクシィグループ等の団体はないが、先進的な取組を行っている自治体の事例を参考に調査を行い、締結方法などを含めて検討していきたいと考えている。

Q レスキューホテルを活用した災害協定について伺う。

A 「市長」災害対策への効果的な活用が期待されるものと考えており、今後、協定の締結について検討していきたいと考えている。



武田光由議員
(公明党)



田村明美議員
(日本共産党)

新型コロナウイルス関係

Q 保健所が濃厚接触者と認めなければ、行政検査でPCR検査は行われず、感染の広がり不安が残る。市の判断で、PCR検査を行うことを求める。

A 「健康管理課長」行政検査は国の基準に基づき、医師が必要と認められた場合に実施している。市の独自施策として、不安のある市民のPCR検査費用に、1人1回限り1万円の助成制度を設けたので、活用いただきたい。

Q 本人の意思でPCR検査をするには、どうすればよいのか。

A 「健康管理課長」市健康管理課に相談後、検査できる医療機関を紹介する。検査費用は約2万5千円から4万円程度必要。

Q コロナウイルスのワクチン接種計画では、65歳以上の高齢者の次に、基礎疾患を持つ人が対象だが、通知書が郵送されるのか。

A 「健康管理課長」基礎疾患を持つていることは本人申告のため、事前にかかりつけ医に相談をしていただきたい。

高齢者支援

Q 65歳以上の介護保険料が値上げさ

れる。介護保険料を抑えるため、市の一般会計での福祉施策を増やすべきではないか。

A 「高齢者支援課長」一般会計において、訪問リハビリサービス・はり、きゅう、マッサージ等助成サービスなど、高齢者福祉サービスを行っている。

産業・環境

Q 県内で鳥インフルエンザが発生し、市内でも82万3千羽が県の防疫措置により殺処分された。市内被災農場へ支援拡充を求める。また、処分鳥の埋却について、当該地域への十分な説明を求めたい。

A 「市長」家畜伝染病予防法等に基づき、県が国や市と連携して蔓延防止措置を行う。市も対策本部を設置した。殺処分は終了し、一部は松山清掃工場などで焼却している。

「産業振興課長」飯塚地区開畑にある市有地に処分鳥を埋却する件について、3月に地区の役員に県が説明会を行った。埋却は、国が科学的見地から定めた方法である。

Q 処分鳥の埋却方法を、穴を掘り防水シートを敷き、ビニール袋、フロンバッグに入れて行った場合、5年後、10年後の土壌や地下水に影響が出ないのか、不明である。愛知県職員の研究報告例等を参考に、数年後に掘り出し、ごみ処理施設で計画的に焼却処理することを検討してほしい。

A 「産業振興課長」提案は、県畜産課に調査研究するよう伝えたい。

市民病院

Q 病院の収益改善の件、レスパイト入院はコロナ禍で対応するのにも厳しいのではないかと。

A 「市民病院事務局長」レスパイト入院という短期の入院になるので、地域から入院患者を受け入れる時にそれなりのリスクがあり、コロナ禍の運用がうまくいかない理由の一つになっている。先行きが不透明な中で、円滑に運用していくのは少し先になると思う。

Q 旭中央病院からの入院患者の紹介は月に何人くらいか。もう少し受け入れることはできるのか。

A 「市民病院事務局長」月に10人程度の紹介で、7、8人入院を受けている。基本的には医師の判断での受入であるが救急患者が、急性期を脱した場合に受け入れるという調整もしており、旭中央病院からの入院患者も増えていくと考える。

環境衛生

Q 東総地区最終処分場の工期が遅れる。工期延長で焼却灰の処分先の問題はないか。

検討と処理費が別途必要とのことだが、市長は知っていたのか。また、工期遅れで出た灰はどの様に処理するのか。

A 「市長」首長会議などで、工期延長になった場合は、最終処分場が開始するまでの間、処分先を確保し、その処分に係る費用が発生するという説明は受けた。組合議員には詳しい話はなかったのかという感じは受けている。

「環境生活課長」 飛灰の処理について、どこかの最終処分場に運搬して受け入れてもらう必要があり、費用として400万円（1か月分）を見込むと説明を受けている。

Q 3か月遅れで1、200万円位かかるなら、当市の最終処分場に入れていただき、東総広域から一市二町環境衛生組合にお金を入れるのも一つの方法だと思ふ。管理者間で検討していただけないか。

A 「市長」一市二町環境衛生組合にその話は来るのではないかと考えているが、相談させていただく。

Q 市長と旭市の理解をいただき、負担割合が変わった。管理者間では答えが出なく、議員間が動き今回の変更となった。市長としてこの変更はどう思うか。

A 「市長」負担割合の改正は、賛成多数で可決され、議会制民主主義による決定と思っている。均等割20、処理量割80というのは、歩み寄れる最大の数字ではないかと思っている。



荻谷進一議員
(二十一世紀の会)

議会日誌

令和3年(2021)
2月▶4月

- 2月 9日 匝瑳市横芝光町消防組合議会3月定例会
- 10日 議会報編集委員会
- 12日 東総地区広域市町村圏事務組合議会運営委員会
東総地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会
- 15日 匝瑳市ほか二町環境衛生組合議会3月定例会
- 18日 八咫水道企業団議会3月定例会
- 19日 九十九里地域水道企業団理事会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 東総衛生組合議会3月定例会
東総地区広域市町村圏事務組合議会3月定例会
- 26日 3月定例会開会、本会議【議案上程】、議会報編集委員会
- 3月 3日 本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会
- 5日 総務常任委員会
- 8日 文教福祉常任委員会
- 9日 産業建設常任委員会
- 11日 本会議【一般質問】、議会改革等特別委員会
- 12日 本会議【一般質問】、全員協議会
- 16日 本会議【採決】、3月定例会閉会
- 30日 東総地区広域市町村圏事務組合広域ごみ処理施設竣工式
- 4月 13日 議会報編集委員会
- 17日 旭市新庁舎竣工式
- 21日 千葉県市議会議長会定期総会

※以上主なもの

議会人事

3月定例会において、新たに委員会、一部事務組合議会議員を、次のとおり選任・選出しました。

委員会

議会運営委員会

田村明美

一部事務組合議会議員

◆千葉県後期高齢者医療広域連合

平山政利

訃報

大木傳一郎議員は、3月4日、御逝去されました。

故人は、昭和46年の八日市場市議会議員選挙に初当選後、11期42年、市議会議員として活躍され、在職中は議会運営委員会委員長、文教福祉常任委員会委員長、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員などの要職を歴任、市政の発展と地方自治の進展に尽くされました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

討論

議案等に対する討論は次のとおりです。

■議案第2号

反対の立場 1件

賛成の立場 1件

■議案第5号

反対の立場 1件

賛成の立場 1件

■議案第15号

反対の立場 1件

議案第2号に対する討論(要旨)は、次のとおりです。

反対討論

令和3年度当初予算は149億8千万円、前年度は、3市共同の広域ごみ処理施設の整備費等が大きく計上されていたので、前年度比約25億円減、平常の匝瑳市予算規模となった。

新事業として、次の予算が計上された。①交通弱者を支援する公共交通施策実施に向けた、匝瑳市地域公共交通活性化協議会の開催。②老朽化対策として、雨漏りしているドーム体育施設の屋根と外壁改修に2億2,800万円。③匝瑳市社会福祉協議会に、12年ぶりに約2千万円

るが、現実的か。

東総地区広域ごみ処理事業への移行で、匝瑳市の負担金2億2,887万円、さらにごみ収集委託費、ごみ袋製造費が約1億8,094万円、さらに中継施設整備費等を検討、財政を圧迫しないか。

市民病院施設の建替えに関する調査、検討等の予算計上が全くない。

児童生徒のタブレット端末利用促進のための、演習費、家庭のwifi環境整備への助成がない。

国県からの指示があれば動く「指示待ち行政」になっているのではないか。

賛成討論

まず、反対討論については、強い要望ではあるものの予算に反対するまでの内容ではなかったと考え、財政基盤に合った効果的な事業が計上された予算編成であると考えます。

令和3年度の匝瑳市一般会計予算の規模は149億8,000万円と、前年比で25億4,800万円の減となった。

主な事業として、防災対策では、地域の自主防災組織の育成強化を図るため、防災士の資格取得に要する経費の助成が実施

される。

また、公共交通対策では、地域公共交通ネットワークの再構築を進めるための実施計画となる匝瑳市地域公共交通利便増進実施計画が策定される。この計画に基づき令和4年度内には、市内循環バスの再編をはじめとする新たな公共交通施策が実施される予定である。

さらに、保健衛生対策では、新生児聴覚スクリーニング検査の検査費用の一部助成や、チャイルドシート助成事業の拡大により、子育て世帯の経済的負担の軽減や、少子化対策の充実に図られている。

このほか、施設の安全性かつ快適な利用に向けた八日市場ドームの改修工事や、市民生活の利便性につながるインフラ整備として、市道のネットワーク化を推進する道路新設改良事業が計画的に計上されるなど、各分野にわたり効果的な事業が計上された予算編成であると評価するものである。

しかしながら、本市の財政状況は人口の減少に伴う市税等の一般財源の低迷と併せ、地方交付税などの本市歳入の柱となる財源の減少が見込まれており、大変厳しい財源見通しとなっている。そのような中でも、多様

化、高度化する市民ニーズに添えていけるよう、歳入に見合った歳出構造を確立させ、持続可能な財源基盤の強化に取り組まれることを望むものである。

太田市長のリーダーシップの下、匝瑳市に住みたい、住み続けたいと実感していただける活力と魅力あふれるまちづくりに向け、より一層積極的な行財政運営に当たられるよう要望する。

匝瑳市議会 インターネット中継 を ぜひ、ご活用ください！

匝瑳市ホームページの市議会のホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧ください。市議会を傍聴に来られない方などは、ぜひご覧ください。



匝瑳市 議会中継 検索

議員から提出され可決した発議

3月定例会で可決した発議は次のとおりです。
意見書については、衆参両院議長、関係大臣、県知事等へ送付しました。

●米価下落対策に関する意見書について

●新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施を求める意見書について

●匠瑤市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

決議した意見書は次のとおりです。

米価下落対策に関する意見書

令和元年産の米在庫が20万トンもあるという状況が伝えられる中で令和2年産の収穫が始まりました。

米価の下落が懸念されていますが、対前年比で概ね1、000円安でスタートしました。しかしながら、やはり懸念されていたコロナ禍での外食需要の落ち込みは想像以上でした。

収穫期終盤までには、米価は2、000円から3、000円の落ち込みで推移し、いまだ回復の兆しがありません。



このような状況下で令和3年産米の作付け計画をするに当たり、3年産米は危機的状態になると予想されます。

農林水産省も危機的状況を踏まえた予算編成を組んだと報道されており、これを踏まえて新潟県は既に農家の手取りが10アルル当たり15万7、000円になる施策を打ち出し、北海道も追隨する方向だと伝わっています。

千葉県におかれましてはこの状況を共有していただき、国の予算を積極的に活用し、千葉県の独自性を持った施策を実行されたく、下記の事項につきまして、強く要請します。

記

- 1 再生産できる価格の保証と、農家手取り10アルル当たり15万7、000円以上の実現
- 2 MA米の輸入取りやめ又は輸入数量の見直しについての国への働きかけ

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施を求める意見書

中華人民共和国湖北省武漢市において発生したコロナウイルス関連肺炎（以下、新型コロナウイルス）は、いまだに治療法が確立されておらず、世界中で感染が広がり、日本においても緊急事態宣言が発出され市民の生活にも影響を及ぼしており、さらには変異ウイルスも蔓延を始めている。

そのような中、2月17日より医療従事者から優先的に開始されたワクチン接種は、新型コロナウイルスの感染拡大を抑える切り札として期待が寄せられており、当市においてもワクチン接種の安全かつ迅速な実施に向けて全力で準備を進めているところである。

しかし、今後予定されているワクチンの供給体制については、具体的な計画が示されておらず、アナフィラキシーショック等の副反応対策や感染防止対策を構築していくこととあわせ、ワクチン接種が安全かつ円滑に進められるか憂慮されるところである。

ついては、ワクチン接種の実施にあたり、国において下記の

事項に対し特段の配慮を講じられることを強く求めるものである。

記

- 1 海外製ワクチンを含めた確保・備蓄をはじめとして、地方自治体への供給を速やかに行うこと。
- 2 ワクチン接種の有効性をはじめ、接種に関わる情報を具体的に周知・広報の上、副反応に対する国民の不安を解消し、安心して接種が受けられるよう、自治体への支援を行うこと。
- 3 ワクチン接種における接種記録・予約等に係るシステム改修やコールセンター設置など、実際のワクチン接種に必要な費用とワクチン接種体制確保への国庫補助金に剥離が生じ、地方への負担が生じることのないよう、国の責任において必要な措置を講ずること。
- 4 一元的な相談窓口での、相談体制を強化し、副反応による健康被害に対し、その原因調査と健康回復への支援を積極的に行うこと。
- 5 ワクチン接種の実施については、医療機関による個別接種と、自治体の公共施設等においての集団接種の併用が検

討されているが、医療機関への負担が大きくなることから、個別接種の円滑な実施に向け、通常診療への影響を考慮した協力金などで、地域の実情に応じたワクチン接種体制の構築ができるよう財政支援策を講ずること。

6 ワクチン接種については、国民の努力義務であり、あくまで本人の意思にゆだねられている。接種しない人が日常生活や職場、学校において不利益な扱いを受けることがないよう、個人情報保護の観点を含め、必要な対策を講ずること。

7 治療薬・治療法及び国産ワクチンの早期開発、安全性を認めたくえでの早期承認を推進すること。

8 唾液を用いたPCR検査及び全自動のPCR検査機器の導入支援や、遺伝子検査キット、抗原検査キット等の生産体制の増強・精度向上を進めるなど、感染拡大防止のため、必要な人が検査を受けられるよう検査能力の向上のための支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

特集

今回の特集では、議会に設置されている委員会とその役割について、また、委員会において審議した事業等のその後の取組状況をご紹介します。

1 委員会とは？

議会に提案された議案、請願などは、議会で直ちに決めることもありますが、数が多く内容が広範囲にわたるため、いくつかの部門に分け、詳しく専門的に審議できるように委員会が設けられています。

現在、本市議会には、常に設置されている「総務」「文教福祉」「産業建設」「予算決算」の4つの常任委員会があり、議員は、「予算決算」とその他の委員会のいずれか一つに所属しています。

2 委員会の役割は？

委員会では、議案についての市の方針や市長の考え、事業の計画や詳細、効果など市民生活に関わる多岐にわたった内容を問いただします。

市側は、市民の代表者である議員の率直な質問に誠実に答えることで、間接的に市民の皆さまに行政の内容をお知らせしていることにもなるのです。

3 委員会審議後の事業等の取組状況

委員会において審議された事業の中から、教育機関等へのコロナ対策や災害対応などの主な取組を例として、その後の状況をご紹介します。

教育機関等へのコロナ対策



市内小中学校に着脱可能なタブレット型パソコンを導入



大型モニターを活用した授業（八日市場第二中学校）



サーマルカメラを市内公共施設等に設置（八日市場ドーム）

災害対応



豪雨により崩れた法面の復旧状況（八日市場第二中学校）

GIGAスクール構想とは……

児童生徒向けの1人1台端末（タブレット型パソコン）と、高速大容量の通信ネットワーク環境を一体的に整備し、従来の一斉教育と組み合わせることで、多様な子ども達を誰一人取り残すことのない、個別最適化された創造性を育む教育とICT教育での次世代人材育成などを持続的に実現させる構想がGIGAスクール構想です。

授業ではこのような使い方をします

- 動画等のデジタル教材を活用した、視覚的な理解を促進する。
- 各自で様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択、収集、整理する。
- パソコンを活用したグループ学習を行い、考えを共有しながら学び合う。

その他、市内小中学校等のトイレにおける床の乾式化・照明の人感式化・蛇口の非接触水栓などの整備を行っています。

令和3年(2021年)3月定例会の審議結果

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

議案番号	議案内容	審議結果	宮内康幸	都祭広一	増田正義	樗日出男	平山政利	林明敏	山崎等	行木光一	武田光由	小川博之	石田加代	浅野勝義	栗田剛一	佐藤悟	苅谷進一	田村明美	石田勝一	大木傳一郎		
1	専決処分承認を求めるとについて(令和2年度匝瑛市一般会計補正予算(第10号)について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
2	令和3年度匝瑛市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
3	令和3年度匝瑛市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
4	令和3年度匝瑛市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
5	令和3年度匝瑛市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
6	令和3年度匝瑛市病院事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
7	令和2年度匝瑛市一般会計補正予算(第11号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	欠	
8	令和2年度匝瑛市一般会計補正予算(第12号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
9	令和2年度匝瑛市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
10	令和2年度匝瑛市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
11	令和2年度匝瑛市病院事業会計補正予算(第6号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
12	匝瑛市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	欠	
13	匝瑛市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
14	匝瑛市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
15	匝瑛市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
16	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
17	匝瑛市ほか二町環境衛生組合の財産処分に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
18	指定管理者の指定について(匝瑛市豊栄コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
19	指定管理者の指定について(匝瑛市須賀コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
20	指定管理者の指定について(匝瑛市匝瑛コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
21	指定管理者の指定について(匝瑛市豊和コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
22	指定管理者の指定について(匝瑛市吉田コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
23	指定管理者の指定について(匝瑛市飯高コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
24	指定管理者の指定について(匝瑛市共興コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
25	指定管理者の指定について(匝瑛市平和コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
26	指定管理者の指定について(匝瑛市椿海コミュニティセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
27	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
28	匝瑛市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
29	匝瑛市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
30	匝瑛市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
発議案																						
1	米価下落対策に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
2	新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
3	匝瑛市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一	
動議																						
匝瑛市議会の議会運営等の正常化のための調査特別委員会の廃止を求める動議		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一
議長不信任動議		可決	○	○	○	退	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	一

編集後記

さわやかな初夏を迎え、柔らかな日差しが降り注ぐ季節となりました。

本市におきましても、5月中旬から新型コロナウイルスの集団接種が始まったことから、コロナ収束に向け一歩前進したと思われ、一日も早く平穏な日々を取り戻せるよう心から願っています。

さて、議会だよりは、今号から冊子のサイズをA4判に変更しました。掲載内容は、前号までのものを踏襲しつつ、皆さんに議会のことをもっと知ってもらいたいと考え、議会に設置されている常任委員会について特集させていただきました。

これからも、読みやすく、興味を持ってもらえるような誌面作りを心掛けてまいります。

委員長 平山 政利

副委員長 宮内 康幸

委員 田村 明美

委員 山崎 等

委員 武田 光由

委員 石田 勝一

匝瑛議会だより編集委員会

6月定例会

6月4日(金)から
6月21日(月)

日程・傍聴などのお問い合わせは、
議会事務局またはホームページまで。
電話 0479(73)0099